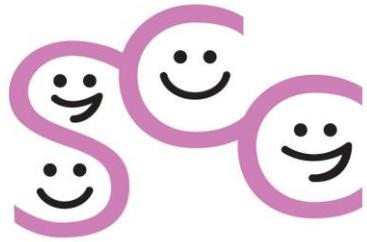


子ども多文化交流事業 kruco × kruco

NPO法人Sharing Caring Culture

代表理事

三坂 慶子



Sharing Caring Culture

Non-Profit Organization



主にアジアを中心とした
10ヶ国からなる多国籍チーム

団体設立の背景 私たちが考える社会課題

- ・ 地域と分断されている外国籍家族の
コミュニティ支援が必要
- ・ 滞在年数によって、求められる支援は異なる
- ・ いつまでも“支援される”対象ではなく、
得意なこと、好きなことで社会貢献する
『外国人の活躍促進』の機会をつくる



なぜこの事業をするのか？

課題

「外国につながる児童が年々増加している中で、日本語の指導や習得が中心になっており、**外国につながる児童と日本人との多文化交流ができていない**」 2018年7月8日 外国籍県民かながわ会議 議事録より

検証活動の仮説

多文化交流事業を通して、外国籍児童、日本人児童が互いに双方の豊かさを育み、**違いが豊かさとして響き合い、尊重し合うような成長**が期待できるのではないかと。

MISSION
ミッション

多様な文化にふれる活動を通して、**地域の中で多様な価値観に出会い、「違い」を良さと受け止められる子ども**を育てる

VISION
ビジョン

相手の文化を尊重し、違いを受容する地域・社会

VALUE
大切にしていること

外国につながる
親が
企画・運営する

▶ **役割感**
所属感
▶ **自己表現感**

子どもの
アイデンティティ
にも好影響

- ① **世界の行事 World Event** 年間5回
タイ（ロイクラトン祭）、中国（春節）、ドイツ（イースター）
マレーシア（ラマダン）、インド（ディワリ祭）

- ② **親子クッキング World Cooking** 年間5回
日本 2回、マレーシア、インド、タイ

- ③ **多言語おはなし会 Multilingual Storytime** 年間2回



2019年10月～2020年2月15日現在 5回実施

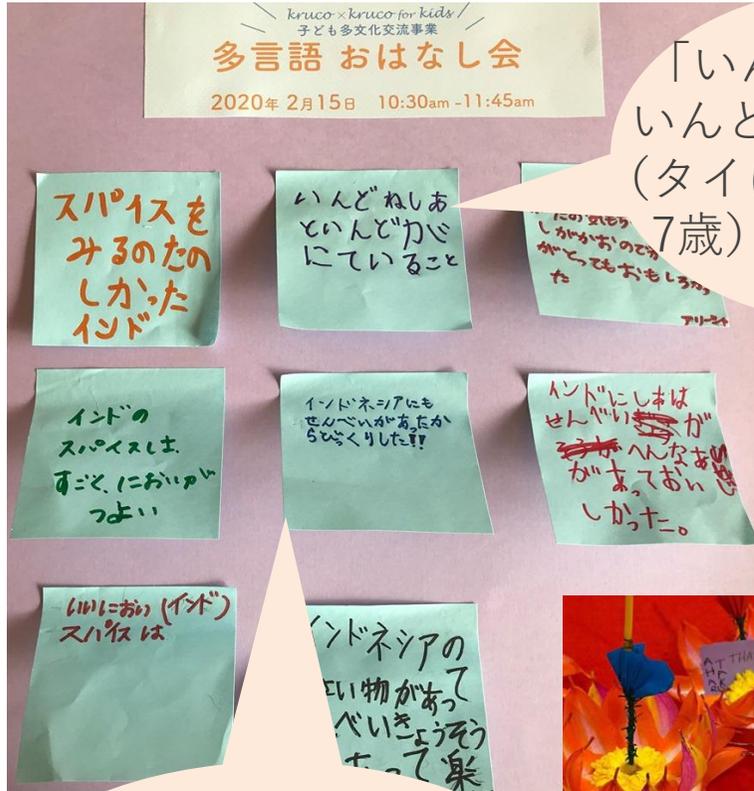
- ① 都筑民家園でおにぎりづくり
- ② タイの行事「ロイクラトン」祭
- ③ 中国の行事「春節」ってなあに？
- ④ マレーシア料理親子クッキング
- ⑤ 多言語おはなし会

外国人児童 及び
外国につながる児童 **25名**
日本人児童 **18名**



計 **43名**参加 (延56名)

kruco × kruco の効果



「いんどねしあと
いんどがにている」
(タイにつながる児童
7歳)

「インドネシアにも
せんべいがあったから
びっくりした!」
(日本人児童 8歳)



「水のかみさま
いつもありがとう」
(タイにつながる児童
8歳)



日本に住み始めたばかり。
子どもに日本文化にふれる機会を持
たせてあげたい (ドイツ人の母)

日本生まれの息子と
おにぎり作りをしたかった
(中国人の母)

子ども多文化交流事業 のロジックモデル



ビジョン 『多様な文化を尊重し、違いを受容する地域・社会』

ミッション 多様な文化にふれる活動を通して、**地域の中で多様な価値観に
出会い、「違い」を良さと受け止められる子どもを育てる**



Keep

行政・企業との連携

- 都筑区 地域振興課
- JA横浜
- 港北みなも

Try

広報の強化

- 図書館でのチラシ配布
 - 日本語教室に通う
- 外国人児童への声掛け

Problem

評価・成果指標の難しさ

- 対象児童の年齢
 - 定期的な参加が厳しい
 - 保護者への聞き取り
- (アンケート調査)